

2019 年度児童養護施設 湯出光明童園 事業報告

1. 事業目的・経営方針

新たに「子どもの笑顔のための大人の笑顔！」をスローガンとし基本的人権の尊重のもと、子どもが心身ともに健全に発達し、自立した社会人として生活できるように、子どもの最善の利益のために必要な支援を行った。

2. 組織構成

①入所者定員

各月 1 日付け

月 数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
定 員	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	
在籍児童	37	37	37	37	38	39	40	41	41	43	43	45	478
一時保護	0	0	2	4	4	2	0	0	0	0	0	0	12
入所率	74.0	74.0	78.0	82.0	84.0	82.0	80.0	82.0	82.0	86.0	86.0	90.0	

(平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日間)

- 1 定 員 : 50 名 (本体施設 38 名、地域小規模養護施設 12 名)
- 2 入所児童 : 10 名 (未就学児 3 名、小学生 5 名、中学生 2 名)
- 3 退所児童 : 8 名 (就職 1 名、家庭引き取り 6 名、措置変更 1 名)
- 4 年間入所率 : 81.7%
- 5 一時保護委託 : 月途中 11 名 (2/4～25 : 3 名、3/12～31 : 5 名、3/28～ : 3 名)

② 児童編成 (2020.3.31)

	3 歳未満児	未就学児	小学生	中学生	高校生	合計
男	0	3	17	7	1	28
女	0	2	11	5	1	19
合計	0	3	28	12	4	47

※一時保護児童含む

③職員構成 (2020.3.31)

園 長		1	事務員	3
直接 処 遇 職 員	児童指導員	8	栄養士	1
			調 理 員	4
	保 育 士	11	看護師	1
家庭支援専門相談員		1	非常勤職員	4
里親支援専門相談員		1	嘱託医	1
心理療法担当職員		2	宿直専門員	4
合計			42	

3. 児童処遇

【 I 】 養護

① 食育

(別紙 1 参照)

季節に合った食材を使用し、節句等の行事にちなんだ献立やホーム調理等の食に係わる取り組みを行った。

② 健康管理

(別紙 2 参照)

児童の健康管理・維持に努め、予防接種等、必要に応じて病院受診を行った。

③ 行事

(別紙 3 参照)

年間を通じて、子どもの自立や社会化を目的とした園内活動を企画し実施した。しかし、年度末は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実施を取りやめたものもあった。

④ 性(生)教育

看護師を中心とした性教育委員が年齢に合わせた“生”と“性”についての研修を企画し外部講師を呼んで性教育研修を行った。

8/29 小学生対象性教育 講師：水俣市保健所保健師

「プライベートゾーン・パーソナルスペース・第二次性徴」について

⑤ 情操教育

□1 新小学 1 年生初参式への参加

□2 児童念仏奉仕団への参加

西本願寺で行われた児童念仏奉仕団に小学 5・6 年生女子 4 名が参加し、歴史に触れるとともにそこで出会った友達との関係作りを学ぶ機会となった。

□3 演奏家協会定期演奏会の鑑賞

水俣市の演奏家協会から定期演奏会への招待を頂き、参加することで子どもたちが音楽に触れる機会を増やせるように諮った。

□4 西念寺住職による法話

月に 1 回、西念寺住職に園に来ていただき、子どもたちに命の大切さ、自分の大切さについて話をさせていただく機会を設けた。

⑥ 家庭支援

(別紙 4 参照)

保護者への支援および児童の家庭復帰に関しては、保護者と児童の意向を丁寧に聞き取りながら家庭支援専門相談員が中心となり児童相談所をはじめ、各市町村の福祉課や関係機関との連携を密に図ってきた。インケアからリービングケア、そしてアフターケアといった支援を点から線に繋ぐことを意識して行った。

⑦ 地域小規模児童養護施設

本年度より新たに一軒、地域小規模児童養護施設(親和)を開設し、更なる子どもの自立(生活習慣の確立)と、社会への適応性(処遇の社会化)の啓発と家庭生活体験の支援を諮った。小学生・中学生・高校生の男児が生活を送り、食事の準備の手伝いや掃除等にも協力して取り組むことが出来ていた。

□1 明日家ホーム (男子)

□2 親和ホーム (男子)

⑧ 処遇困難事例研究

(別紙5参照)

様々な背景を持った児童の育ちを保障するために、職員のスキルアップを目指し、ケース検討会に外部より助言者を招き、子どもへの関わり方の質と処遇技術の向上に向けた取り組みを行った。

ケース検討会 助言者：熊本ルーテル学院大学 教授 永野典嗣 氏

5/31 ・ 7/12 ・ 12/20 ・ 2/28

⑨ 「CAP」への参加

3月に子ども向けのワークショップを計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大予防に伴い中止とした。

⑩ 湯出小学校・水俣第一中学校との連絡協議会

湯出小学校・第一中学校に在籍する児童の施設での支援・学校での指導等について学校職員と当園職員で意見交換、検討を行った。また、随時各担任、各担当との密な情報交換により一層の処遇向上を目指し、全体的な支援と連絡協力体制の強化を諮った。

湯出小学校：4/25・10/25

第一中学校：6/28・11/6

⑪ 家庭生活体験事業

長期休暇（夏休み・冬休み）を利用し、社会性や情緒の安定、自立促進を目的に里親家庭やボランティア家庭などで宿泊を伴って家庭生活を体験した。

【 II 】 自立のための援助

① 行事（自立支援）

(別紙3参照)

公共交通機関を利用した行事や、ホーム毎の少人数でのホーム活動の行事を企画し、家庭的な中でも、子どもたちの自立や社会性を育むことのできる園外活動を実施したが、年度末には新型コロナウイルス感染拡大予防の観点により、実施を取りやめた行事もあった。

② リービングケア

□1 企業体験

YMCAフィランソロピー協会に依頼し、所属企業であるトヨタ自動車水俣店での企業体験を中3男児と高3男児の2名が参加し実施した。

□2 ブリッジフォースマイル「巣立ちのセミナー」参加

熊本市内で開催されたNPO法人ブリッジフォースマイル主催「巣立ちのセミナー」に高3男児、高3女児の2名が参加し、退所後の生活に役立つ知識を学んだ。

□3 高校3年生を対象に、「病院受診の方法、医療費の実際」についての講習等を当園看護師が行った。

③ 就職・進学・学習支援

□1 就職 株式会社ケイエムケイ、介護老人保健施設 孔子の里

□2 進学 高等学校：水俣高等学校、芦北支援学校高等部芦北分教室

□3 学習塾 GC 学習塾

④ CAP

卒園前の子どもを対象にワークショップを予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大予防を考慮し中止した。

⑤ 家庭訪問

(別紙 4 参照)

家庭復帰を見込む家庭に対し環境把握、環境調整を目的に家庭訪問を行った。

【 III 】 アフターケア

退所した児童に対して、職員が時折連絡をとるなどし、退所後も安心して施設を頼ることができるよう対応した。また家庭復帰となった児童宅への家庭訪問を行い、現状把握とともに関係性が途絶えないよう対応した。

4. 職員処遇

① 福利厚生

職員厚生、連帯感を深めるべく、3班に分かれて職員旅行を実施した。

職員旅行：指宿市（1班 7/1・2、2班 7/8・9、3班 7/15・16）

② 職員研修

(別紙 5 参照)

児童処遇向上を語るべく、全養協主催の研修会や県養協主催の研修会等の各種研修会に職員を派遣し、子どもたちへの質の高い支援を目指し、併せて職員の交流を語り、施設運営と児童処遇の向上を語った。

③ 自主研修

(別紙 5 参照)

□1 他施設見学での職員研修

11/27 障害児入所施設 あすなろ学園（北九州市）

12/11 SOS, 子どもの村 JAPAN（福岡市）

1/27 児童心理治療施設 筑後いずみ園（筑後市）

□2 園内研修

6/21 アンガーマネジメント

10/10 法律講座

1/14 ブリッジフォースマイル研修

□3 新人研修：2/19 「児童の発熱時の対応・嘔吐物の処理方法について」

□4 法人研修：6/28 初級職員、11/1 中・上級職員

※令和2年度新規採用職員に対しての入職前研修は新型コロナウイルスの感染拡大予防を考慮し中止とした。

④ CAP研修

(別紙 5 参照)

にじいろ CAP による人権擁護に基づいた職員向けワークショップを実施し、子どもが安心安全に暮らすために意識の向上を語った。 実施日：4/17・5/15

⑤ 各委員会活動

各委員会・係を設け、それぞれに全職員が所属し活動を行った。

5. 権利擁護

① 性教育

高校3年生を対象にした講習会を当園看護師が実施した。

1/31、3/25 「コンドームスキル」

② 暴力防止

不適切なケアの予防のための自己チェックシートの実施。(年2回)

③ 苦情処理等相談

(別紙 6 参照)

□1 意見箱の設置

各ホームに意見箱を設置し、子どもたちの意見や苦情を自由に投書できる環境を整えており、投書については苦情処理担当職員が聞き取りを行い、苦情処理相談を行った。

□2 第三者委員会

苦情報告会議の実施。(5/17：平成 30 年度受付分 5 件報告)

□3 ホーム会議、全体会議の実施

毎週末毎に子どもたちが主体のホーム会議や全体会において、要望や希望を聞く機会を設け、挙げられた意見を全職員にて共有することによって、より安心安全な施設となるよう善処した。

④ 児童養護施設における人権擁護のためのチェックリスト

チェックリストをもとに全職員が自己評価を実施し、その結果を踏まえて施設の在り方について考えた。(90/91 点)

⑤ CAP 研修

上述した報告の通り。

6. 危機管理

① インシデント・アクシデント

(別紙 7 参照)

子どもたちが安心して生活が送れるように、インシデント・アクシデント報告書の提出を実施し、職員の危機意識の向上を諮った。また、本年度から日誌へ記載された日常生活の中でヒヤリハット事案には@を付け、報告書までには至らない小さな気づきを拾い上げることで、更なる職員の危機管理に対する意識の向上を諮った。

※ 湯出安心安全委員会を作り、インシデント・アクシデント事案、@事案の内容と対応策を、外部有識者の方にも見ていただき、助言を頂く取り組みを始めた。3/18 湯出安心安全委員会実施

② 災害及び避難訓練

(別紙 8 参照)

毎月、避難訓練を実施し、子ども・職員の火災予防に対する意識の高揚を諮り、命の尊さ、物の大切さを学び、災害防止に努める心を育んだ。また、災害対策要綱の中に、水害・土砂災害に関する要綱も盛り込み、全体への意識づけも行った。

③ 総合防災対策

防火設備等の点検を行い、消費期限の近い非常食の入れ替えを行い、備蓄を 3 日分から 4 日分へと増やした。

④ 防犯対策

防犯カメラ・防犯用赤外線センサー・さす股等を設置し、防犯の強化を諮った。

⑤ 衛生管理

(別紙 5 参照)

2/28 感染症予防対策研修 (職員対象)

講師：医療センター感染管理認定看護師 村嶋和也氏

7. 地域交流支援

① 地域交流

より良い施設の社会化を諮る目的で、地域との交流を深める企画を立て、子ども、職員共に地域の一員であるという自覚を持つと共に、地域からの要請やイベントにも積極的に参加した。

□1 茶摘み

□2 湯出地区夏祭り (すずむし祭り)：地域の一員として会場作り等に参加した。

3 交流バーベキュー：雨天のため中止。

② 童園祭

日頃からお世話になっている地域の方や学校の先生方などに、気軽に足を運んでいただけるようにバザー等を催し、交流を行い、施設や入所児童への理解をより一層深めてもらえるように実施した。

11/17 来園者総数 239 名

③ P T A 活動

P T A 活動にも積極的に参加し、役員も務め学校行事にも参加した。

④ 子育て短期支援事業

1 トワイライトステイ：利用なし

2 ショートステイ

5 歳男児・1 歳女児（水俣市）4/13～4/14 4/26～4/28 10/26～10/28 R2/1/17～1/19 に述べ

8 名の利用があった。

⑤ 3 歳半乳幼児健康診断

水俣市からの依頼を受け、心理士が月 1 回、保健センターにて健診スタッフとして参加した。

⑥ こころの健康アドバイザー

熊本県からの依頼を受け、心理士が年 3 回程度、アドバイザースタッフとして参加した。

⑦ 非常勤講師

家庭支援専門相談員が短期大学の非常勤として教鞭をとった。

⑧ 地域貢献活動

1 放課後に地域の子どもが遊んで過ごすことの出来る居場所の提供を行った。

2 旧湯出中学校/湯出小学校体育館周辺清掃

※ 3 月に予定をしていたが新型コロナウイルス感染拡大予防を考慮し中止した。

8. 施設整備

1 各種点検

施設環境・設備等の点検を実施。

実施業者：立尾電設

実施日：R 元/7/31 R2/2/3

2 車両購入

購入業者：スズキ自販熊本

購入車両：スズキ エブリィ（軽自動車）

納入日：4 月

3 ムカデ防除工事

実施業者：ハーモニー総合サービス

実施日：6～9 月

実施場所：地域小規模児童養護施設 2 か所

明日家ホーム・親和ホーム

4 本園室外機鳥よけネット補強作業・換気扇室外フード洗浄

実施業者：サンアメニティ

実施日：R 元/6/21

5 天井埋込 4 方向型エアコン洗浄・ルームエアコン洗浄

実施業者：サンアメニティ

実施日：R 元/8/1・2・3

6 温泉配管・タンク洗浄消毒作業

実施業者：有限会社ツルカメ企画事務所

実施日：R 元/10/24

7 本園 宙ホームクロス貼替

実施業者：橋本インテリア

実施日：R2/3/14~19